

oinanyo 通信

2023年10月号 No.71

発行所

NPO 法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>



宅老所 まつお

なんと言っても「竜峡小唄」♪と「りんごん」昔採った杵柄で輪になって踊り、座位で踊る方、手拍子をして下さる方、それぞれが楽しい盆踊りでした。



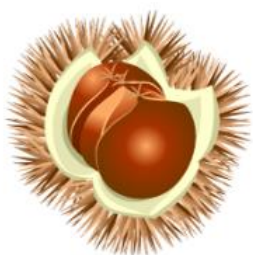
「まつお」の盆踊り。着付けは誰がしたのでしょうか。髪振り乱し汗も、暑い日でした。8月毎週金曜日の行事でした。



宅老所おおせぎ別家

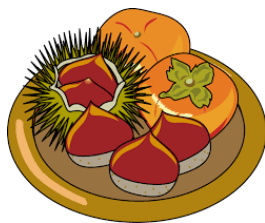


お弁当は一味違う!! 栗おこわ弁当にしました。皆さん大喜び食が進みます。



ピアノを弾く利用者さん。音楽をお勉強してきたボランティアさんと思わぬコラボが出来ました。





三日市場カフェ 9/22(金)

演題 「認知症ケア 病気の理解と支援技術」

講師 八田 桂子

海馬、前頭葉、頭頂葉、側頭葉等のメカニズムを知ること
で認知症の理解と対応。しかし一言で言えない環境の産物人間
は、難しいものがある。「嗜銀顆粒性認知症」は 60 歳～
80 歳以上の高齢者の発症ケースが多いそうだ。

怒りぼくなる、頑固になる、興奮しやすい、自立生活はでき
る。結論は、高齢になったら全員が認知症になれる。

講演後、家族の方が集まっての話し合いを設けました。家族
の大変さを聞き、共有出来たこと、離れることの大切さ知り、
何れは自分たちの行く道。転んだら一緒に助けられる社会を
創らなければいけない。



9/29 (金) さくらまち・松島<<消火訓練>> おそとでカフェ

新しい運営推進委員さんも加わって、もし火災があった場合、職員だけ
では人数が不足。地域の皆さんの協力がないと大変。地域の皆さんと事
故、災害では助け合わなくてはいけない。と沢山の意見を戴きました。
消防職員さんは東北大震災の現場にレスキュー隊で出勤。現場では消火
より先ず命、逃げるのが先です。消火訓練では「ピノキオ」を合言葉
に「松島」のご利用者さまが活躍しました。



中秋の名月のこの日 9/29 消火訓練に「お
団子、ススキ、秋桜、サツマイモ、梨、ぶどう」
お供えしました。お月さまは食いしん坊かな。

僕は「はやわざクン」と申します

ピノキオと手順良く、消火は手早くするんです。

今年は酷暑の夏でしたが、10月に入りようやく朝晩涼しくなりました。

先日、保険会社の協力でハラスメント研修を ZOOM で受けました。職員の感想の中で某若い職
員が『私は、ハラスメントを受けていないが私達は利用者さんに対してはどうなんだろう?』と
一言がありました。この感覚をいつまでも、皆が持ち続けてほしいと願いました。おいなんよの
理念を支える一言です。

理事長 佐藤 敏子

編集後記 誰も信じなかつた 2 月 (2022)。戦争は起きないと誰もが信じていたロシアと
ウクライナ。しかし戦争は終わりを知らず、いまだ続いている「ウクライナでいま悲惨な目
に遭っている子どもたちの姿は 77 年前の私たちです」と老優が語った。世界を二分化し、
輸出入の動きがなく、我々もいよいよ自給自足の時期を迎えた。生きねばならぬ。(い)

